

## ■米国：電気事業運営の変革迫る低廉ガス、分散型再エネ、規制緩和

IPP 大手の NRG 社（本社ニュージャージーおよびテキサス）のデビッド・クレイン CEO は、2013 年 8 月 30 日付業界誌のインタビューに応え次のように語った。「電力業界が直面している様々な変革のなかでも、低廉な天然ガス、分散型再エネ、規制緩和は、電気事業の運営を絶え間なく変えていくことになる。需要家が小規模風力や屋根置きソーラーなどの再エネ電源を採用するようになると、グリッドを離脱する需要家が増え、電力会社は残った需要家の電気料金を引き上げるので、グリッドを離脱する需要家がさらに増えるという悪循環を生み出す。電気という製品を需要家に送り届ける事業モデルは 1930 年代に開発された。1930 年代のやり方がいまだに機能している産業がほかにあるだろうか。いま電力産業に必要なのは 25 年前の電話産業のように、もっと情報技術をベースとした産業に一躍変身することだと思う。電力業界を近代化するためには、エンドユーザーがどのように電力を得るのか、だれから購入するのか、それをどう利用するのか、業界としてもっと管理できるようにしていかなければならない。」